

特別陳列

布施美術館名品展¹²

FUSEMUSEUM COLLECTION

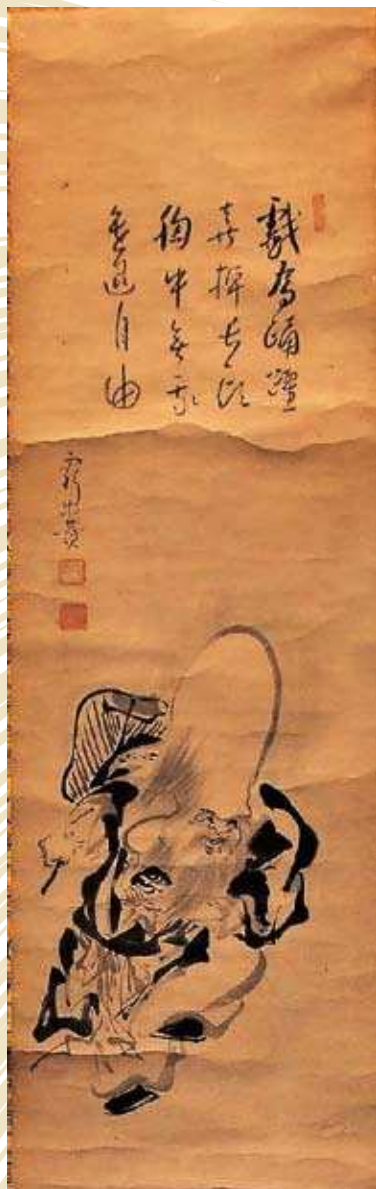
一医師が集めた 江戸文化の



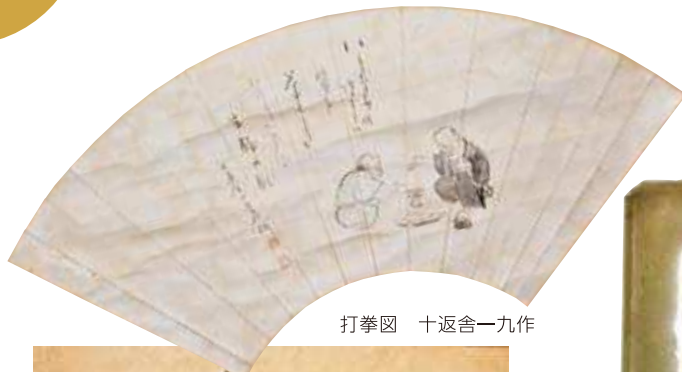
菓子器
牡丹絵
九谷写
青木木米作

至宝

—近世の文人たち—



南極老人遊戯図 亀田窮案作



打拳図 十返舎一九作



囲碁図 有栖川宮幸人親王作



角盃 傲龍泉 青木木米作

令和4年

3月16日(水) ▶ 5月16日(月)

午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

高月観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺229 TEL&FAX.0749-85-2273

E-mail: takatsuki-shiryoukan@city.nagahama.lg.jp

https://www.city.nagahama.lg.jp/section/takatsukirekimin/

◎入館料／一般 300円(団体250円)、小中学生 150円(団体130円)

※団体は20名以上です

※「長浜市・米原市」の小中学生は無料です。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方及びその付添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)

◎休館日／火曜日・祝日の翌日

■主催：高月観音の里歴史民俗資料館

■協力：一般財団法人 布施美術館

新型コロナウイルス感染防止のため、ご入館の際は①マスクの着用、②検温、③手指の消毒、④係員の誘導、⑤代表者の連絡先の記入にご協力ください。
なお、感染の状況によっては、特別陳列の開催を延期・中止する場合があります。



一 医師が集めた江戸文化の至宝

一 近世の文人たち

長浜市高月町唐川に建つ布施美術館(非公開)は、当地出身の医師・布施巻太郎(1881-1970)が収集した富岡鉄斎(1836-1924)をはじめとする文人画、經典や古文書、医学・薬学関係資料など数多くの貴重なコレクションを収蔵する美術館です。

布施巻太郎の「自ら収集したコレクションを、国民の文化遺産として永く後世に残したい、広く社会教育に活用したい」という美術館の創設理念を受け継ぎ、高月観音の里歴史民俗資料館では毎年、布施美術館のすぐれた所蔵資料を特別公開しています。

今回は、所蔵品の中から、江戸文化を昇華させた文人たちの資料に焦点をあてます。文人たちは、文芸・美術・学問など様々なジャンルで活躍し、江戸文化を華やかに彩りました。

本展を通じて、布施コレクションの価値を知っていただくとともに、布施巻太郎の心にふれ、あわせて郷土文化を再発見する契機にいただければ幸いです。



布施美術館



芭蕉像図 酒井抱一作



荷花世界図 渡辺華山作



秋景山水図 龜田鵬斎作



山水図 細井平洲作



茶銚 三島窯写 青木木米作



茶銚 白高麗写 青木木米作



七角赤絵 青木木米作

展示内容

①江戸前期の文人たち

名陶工の本阿弥光悦、『養生訓』で知られる貝原益軒、有栖川宮幸人親王の書画を展示します。桃山時代から江戸時代という、変化のある時代を生きた江戸前期の文人たちを紹介します。

②江戸中後期の文人たち

屈指の名君として名高い上杉鷹山の師・細井平洲、寛政異学の禁で弾圧を受けた亀田鵬斎、京都の書家・亀田翳楽、文人画に秀でた中林竹洞・竹溪親子、京都四条派の絵師・松村景文、大名家に生まれながら絵師となった酒井抱一、滑稽本『東海道中膝栗毛』の作者千返舎一九らの作品を紹介します。

③幕末の文人たち

儒者広瀬淡窓・旭莊親子、思想家・頼山陽、蘭学者・渡辺華山、富岡鉄斎に大きな影響を与えた尼僧・大田垣蓮月らの作品を紹介します。

④幕末の名陶工・青木木米

青木木米の陶磁器類を展示します。木米は、仁阿弥道八と永楽保全に並ぶ「京焼の幕末三名人」と称えられる人物で、書画にも通じていました。

展示説明会

日時 令和4年4月23日(土)13時30分～
場所 高月観音の里歴史民俗資料館 2階展示室
※説明会には入館料が必要です。(観音の里歴史民俗資料館友会の会員は、無料)



高月観音の里歴史民俗資料館

〒529-0233 滋賀県長浜市高月町渡岸寺229 TEL&FAX.0749-85-2273
E-mail : takatsuki-shiryoukan@city.nagahama.lg.jp
https://www.city.nagahama.lg.jp/section/takatsukirekimin/